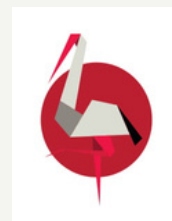


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年12月13日 / Vol. 031



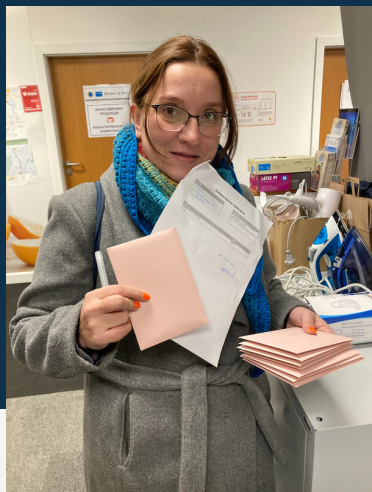
12月5日(月)～12月11日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援

シェルター訪問



クラクフ市福祉課職員から、冬服支援の商品券2000枚の受領証を受け取った。商品券は12月中旬で全て配布完了する見込み。

ご支援総額

2022年12月9日までの寄付総額 108,484,587 円

寄付金使用総額 2941823.52 zł (約8531万円)

12/5(月)～12/11(日)の期間中の寄附金使用額

23798.83 zł (約69万円)

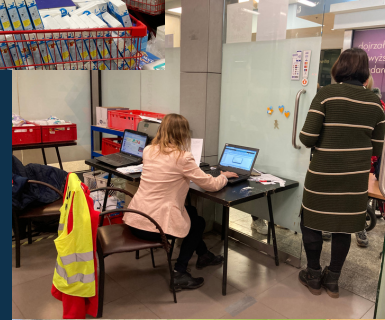


活動内容

支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。

ウクライナでは、12月19日の"聖ニコラスの日"に子ども達がおもちゃをもらうため、19日に向け、両支援所ともウクライナの子ども用のお菓子を取り揃えている。



レストランプロジェクト

市内レストラン3店舗と協力し、無料で温かい食事を提供。

Duchacka避難所へは、予算に応じて週に2～3回の食事の配達を実施。

温かいスープ・チキンカツ・ザワークラフト・ビーツのサラダが配達され、この日はオーナーの厚意によりピザ・フルーツ・ジュースが提供されていた。



食材支援（毎週金曜日）

26家族に1週間分の昼食用食材を提供。一人あたり50złの予算を設け、合計で4150.71 zł（約125,000円）分の食材を購入。

ウクライナに一時帰国している家族や、体調不良により欠席している家族が多く、いつもより少ない参加となった。



シェルター訪問

KapelankaシェルターとDuchacka支援所を訪問。

写真(右)は冬服支援のクーポンを受け取った方々で、それぞれ購入品を着用して見せてくれた。

Duchacka支援所は、増え続ける避難民に対応するため、部屋の改修と2段ベッドの設置を急いでいる。





現地の動向

Facebookのクラクフのウクライナ人サポートページ Kraków dla Ukrainy では、聖ニコラウスに向け、おもちゃの提供を呼び掛ける投稿が増えている。

※ウクライナ正教ではクリスマスのお祝いが2回あり、12月19日の聖ニコラウスの日は子どもたちにおもちゃが与えられる。クリスマス本番は1月7日で、ウクライナでは祝日となる。



元々チャリティー活動が盛んなポーランドでは、クリスマス時期は特に子どもたちの為の活動が目立っている。

(出典：<https://www.facebook.com/groups/1424391978008321/?mibextid=HsNC0g>)



画像(左)は、オフィスビルに貼付されていたチャリティーのポスター。養護施設の子どものために、お菓子や筆記用具、日用品などの提供を求めている。

福田会でも支援所の子ども達へクリスマスプレゼントの提供を予定していたが、各団体からのプレゼントの寄付が多くなるため、クリスマスリース作りなどのワークショップの開催を予定している。